

ライチ便り No. 25

～福岡広州ライチ倶楽部会報 2014年9月号～
<http://lychee-club.jp/>

天高く爽やかな季節の到来です。木々の紅葉やコスモスが美しいですね。

このところ御嶽山の噴火や続けさまの台風など自然災害が多発して、秋の行楽にも影響が出ているようですが、どうか皆さまの生活が穏やかでありますように！

少し遅れ目のライチ便り 25号をお届けします。今回は7月～9月末の活動報告です。

今年もライチを満喫しました

日中関係が冷え込んでいる昨今、「今年も行くの？」と心配するもありましたが、もちろん7月3～6日、22人で行ってきました。運休していた中国南方航空の直行便が、私たちの出発日から再開したので、とても便利で快適な旅となりました。

更に嬉しかったのは、当倶楽部の特別顧問である西日本新聞の川崎社長が初めて参加してくださったことです。多忙な日程を何とか繰り合わせ、他の一行より1日早く広州入りし、北京から駆けつけた久永中国総局長と一緒に広州日報社や羊城晩報社を訪問され、新聞社同士の交流も行われました。

今回も広州市外弁のご好意で、研修生 OB—福岡マフィア、福岡でのインターンシップ OBなどがたくさん集まって再会し、楽しく語り合う交流会を催していただきました。



インターンシップ参加学生と一日交流を行いました



今年も広州から12人の日本語学生が7月15～30日に来福し、韓国釜山の学生と一緒に日本の企業文化を体験しました。今回は男子学生が多かったのが特徴です。

7月20日には例年通り、ライチ倶楽部が広州の学生をバス旅行に招待し、糸島方面を観光しました。大陸との交流を偲ばせる志摩歴史資料館を見てか

ら、オープンしたばかりの“一蘭の森”で昼食をとりましたが、暑さと人の列の長さでやや興ざめ？むしろ予定外に回った櫻井神社のひっそりした佇まいと涼しさが好評でした。帰路、バスの運転手さんの提案で、筑前二見ヶ浦に立ち寄りました。学生たちは、波打ち際で裸足になって大はしゃぎでした。

夜には“木曾路”で行われたライチ狩りの写真交換会に出席してもらい、参加した会員と賑やかに交流しました。

～以下は、今年12月の劇団道化広州公演を精力的に準備している、福岡市上海事務所長奥田聖さんをお願いして書いてもらった、広州公演への思いです～

劇団道化 in 広州公演への道

中国各地で活動の幅を広げている「劇団道化」。彼らの中国語による公演を初めて目にしたとき、その完成度の高さに驚きました。それと同時に、「これをぜひ広州の子供に見せたい」という気持ちが湧いてきました。人が楽しいと思うものに国境はありません。福岡と広州の友好関係も今年で35周年。楽しいことを分け合ってこそその友人です。

広州公演を実現するため、まず毎年12月に広州で開催している「ジャパンプランド展」のステージ公演に目を付けました。同時に、広州市政府にも相談を行い、8月には劇団道化の中村さんと共に広州を訪れました。必要なのは公演場所と費用。多くの広州の子供たちに公演を見せるためにはどうすべきか。現地では、相談を持ちかけた福岡にゆかりある方々や福岡出身の日本駐在員の方々など、たくさんの方が積極的に力を貸してくれています。全てが順調に進んでいるわけではありません。しかし「劇団道化」をキーワードに、広州で多くの方が繋がっていています。一つの想いが新たな出会いを生んで、いつか大きな力になる。これこそ草の根国際交流の醍醐味ですね。



上海公演の成功を見守る奥田さん

-
- * 当倶楽部のHPとブログを開設しました。標記のアドレスに是非アクセスして下さい。
 - * 未納の方は、今年度会費の振込をお願いします。個人：5000円 団体：一口10000円です。
 - * 会報を送付するのは電子メールが便利です。メールアドレスをお持ちの方は是非お知らせください。連絡先：y-chiba.naga@hb.tp1.jp または info@lychee-club.jp